

日本経済新聞社
プロデュース

中国フィンテックに ふれる 視察5日間

北京 / 杭州



2018年11月13日(火)～17日(土)

 日本語通訳付き

 羽田発 / 成田着

どこまでご存知ですか？ 爆速中の中国フィンテック



スマホ決済 争奪戦

スマホ決済を巡る競争が激化している

QRコード
LINEペイ(LINE)
楽天ペイ(楽天)
メルペイ(メルカリ)
PayPay(ソフトバンク)
楽天ペイ(楽天)

フェリカ型
ソニー 訪日客に
日本市場で存在感

ソニーは訪日客にアピールするため、日本市場で存在感を示す。ソニーは訪日客にアピールするため、日本市場で存在感を示す。

ソニーは訪日客にアピールするため、日本市場で存在感を示す。

▲ 2018年1月16日 日本経済新聞 朝刊掲載

「アリペイ」1.5兆円調達 IPOの観測 財務体質強化

アリペイはIPOの観測が濃厚。財務体質強化を進めている。

アリペイはIPOの観測が濃厚。財務体質強化を進めている。

アリペイはIPOの観測が濃厚。財務体質強化を進めている。

▲ 2018年6月9日 日本経済新聞 朝刊掲載

中国の金融革新 世界の実験場に

中国フィンテックの勢い止まらない。スマートフォンの普及によりインターネットが浸透するに合わせ、IT(情報技術)を駆使した決済や保険、融資などの金融サービスが市民生活の隅々まで広がろうとしている。先進国の後追いを経てきた中国経済が、フィンテックでは世界が目指す「実験場」となっている。

中国の金融革新 世界の実験場に

中国フィンテックの勢い止まらない。スマートフォンの普及によりインターネットが浸透するに合わせ、IT(情報技術)を駆使した決済や保険、融資などの金融サービスが市民生活の隅々まで広がろうとしている。先進国の後追いを経てきた中国経済が、フィンテックでは世界が目指す「実験場」となっている。

今年、220社が資金調達

融資や保険、ユニークな商品続々

中国フィンテックの勢い止まらない。スマートフォンの普及によりインターネットが浸透するに合わせ、IT(情報技術)を駆使した決済や保険、融資などの金融サービスが市民生活の隅々まで広がろうとしている。先進国の後追いを経てきた中国経済が、フィンテックでは世界が目指す「実験場」となっている。

融資や保険、ユニークな商品続々

中国フィンテックの勢い止まらない。スマートフォンの普及によりインターネットが浸透するに合わせ、IT(情報技術)を駆使した決済や保険、融資などの金融サービスが市民生活の隅々まで広がろうとしている。先進国の後追いを経てきた中国経済が、フィンテックでは世界が目指す「実験場」となっている。

▲ 2018年7月13日 日本経済新聞 朝刊掲載

アリババ大型リアル店

電子決済との融合探る

アリババは大型リアル店を展開している。電子決済との融合を探っている。

アリババは大型リアル店を展開している。電子決済との融合を探っている。

富士急 富士急 富士急

テレンセントのスマホ決済導入

富士急はテレンセントのスマホ決済を導入している。

富士急はテレンセントのスマホ決済を導入している。

▲ 2018年7月23日 日経産業新聞 掲載

中国の決済 USENでも

今夏から契約店舗に導入

中国の決済USENが日本でも導入される。

中国の決済USENが日本でも導入される。

▲ 2018年6月27日 日経MJ(流通新聞) 掲載

中国のスマホ決済拡大

東武百貨店「ワイチャット」導入

中国のスマホ決済が拡大している。東武百貨店がワイチャットを導入している。

中国のスマホ決済が拡大している。東武百貨店がワイチャットを導入している。

▲ 2018年4月25日 日経MJ(流通新聞) 掲載

日本経済新聞社がプロデュースした オリジナル企画です



日本のすぐ隣の中国が、世界最速のスピードでデジタル化社会に突入しています。なかでも変化が著しい金融・決済サービスをテーマに、そのフロントランナーであるスタートアップと交流し、最先端のデジタル情報にふれる視察ツアーを日本経済新聞社が企画しました。

デジタルイノベーションの「奥の院」とされる北京では、長年のパートナーである清華大学とその傘下のTUS Holdingsの協力を得て、大学発のスタートアップにアプローチします。3000社以上の起業を支援するTUSが選び抜いた、信頼性の高いスタートアップと人脈を築くことは、将来の投資や提携につながる貴重な財産となるでしょう。

アリババ集団などが本社を置く杭州では、世界最大級のフィンテックイベント「Money20/20 (マネー・トゥエンティ・トゥエンティ)」に参加します。アリババや騰訊控股(テンセント)、百度(バイドゥ)といった中国巨大企業のセミナーに参加するだけでなく、展示ブースやレセプションでも、経営者の「生の声」を聞き、最新情報にふれるチャンスが得られます。イベント参加費用(約38万円)はツアー代金に含まれていますし、視察ツアーの参加者だけが体験できるオリジナル・プログラムもご用意します。

全行程通訳付きの視察ツアーです。清華大学やスタートアップとの交流も、フィンテックイベントでの情報収集や人脈作りも日本語で参加していただけます。またツアー終了後にはプログラムの内容をまとめた視察団リポートを送付します。

日本経済新聞社がプロデュースした信頼性の高いプログラムを通じて、中国のダイナミックな変化を肌で感じて下さい。

★日本語通訳が付いています

★Money20/20の入場パス(約38万円)付きです

★日本経済新聞社が作成する「視察団リポート」を送付します

POINT 01

信頼性の 高い情報

「エンジニアのゆりかご」といわれる清華大学の全面的な協力により、信頼性が高い中国ビジネス情報が得られます



POINT 02

スタートアップ との交流

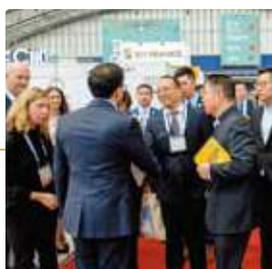
フロントランナーであるスタートアップと国際的なネットワークを構築できます



POINT 03

経営者の リアルな声

Money 20 / 20 への参加を通じて中国と米欧の経営者が描く未来のデジタル化社会を体感できます



POINT 04

マッチングを フォローアップ

Tus Holdingsにジャパンデスクを設置し、中国スタートアップとの提携等を検討する参加者をフォローアップします



イノベーションの「奥の院」 清華大学の起業家との出会い



中国で「エンジニアのゆりかご」とされる清華大学はアジアでトップクラス、世界でも十指に数えられる技術系大学です。2014年に李克強首相が「大衆による起業」という方針を打ち出し、技術革新を新たな成長エンジンと位置付ける中国において、最新技術とスタートアップを次々と送り出す清華大学はイノベーションと起業の中核と言えるでしょう。

最近6年間に北京では29社のユニコーン（10億円以上の価値を持つ未上場企業）が誕生しました。これに上海の16社を加えると、シリコンバレーの57社にほぼ匹敵する規模となります。清華大学は学生らの起業を支援するプラットフォームといえ、アリババやテンセント、バイドゥなどの巨大企業もその技術研究に参画しています。技術を開発して、それをビジネスに応用し、新たな企業を作り出すという大きな流れの源にあるのが清華大学で、北京がデジタルイノベーションの「奥の院」といわれるのもこのためです。

清華大学が45%を出資するTUS（清華大学サイエンスパーク）は、大学発のスタートアップを育成する役割を担っています。ベンチャーキャピタルやインキュベーションセンターを運営しており、起業支援先は3000社以上、投資先は150社を超えています。中国全土に約130の拠点を構え、フィンテックのみならず、AIやビッグデータ、バイオ医学、VRでも数多くのスタートアップを支援しています。



▲ 2018年8月9日 日本経済新聞 朝刊掲載



張金生 TUS Holdings 副総裁

清華大学サイエンスパーク（TUS）は産学連携によって中国のイノベーションを推進するための技術研究開発機関であり、また中国スタートアップを育成するインキュベーション施設でもあります。清華大学や北京大学などの有名大学に隣接しており、これがスタートアップの源泉にもなっています。

私たちは、イノベーションのための優秀な人材や起業家を集めることが、中国の技術開発力や国際競争力の向上につながると考えています。今回の訪問を通じて、中国のスタートアップと交流し、リアルな中国のテクノロジーと起業へのエネルギーを感じて頂ければと考えています。



交流型の国際イベント アリババやテンセントの最新技術を学びます



世界最大級のフィンテックイベント「Money20/20」が杭州で開催されます。中国ではQRコードを使ったキャッシュレス決済や金融サービスへのAIの応用などが急速に広がっており、アリババやテンセントといった巨大企業との人脈作りや情報収集を目的に、米欧からも数多くの参加者が来場する予定です。

Money20/20は新興フィンテック企業が中心になって2011年に米国で始まった国際イベントです。ラスベガスで毎年開催されるカンファレンスには約3500社の金融機関やテクノロジー企業が参加し、投資会社や流通・サービス企業、コンサルティング、シンクタンクなどから約12000人が来場しています。中国社会の急速なデジタル化で、グローバルな事業展開を目指す中国企業と中国事業の拡大を狙う米欧勢のニーズが高まっているのを受け、運営会社の英Ascential Groupが中国本土で初めての開催を決めました。

杭州のカンファレンスではキャッシュレス決済やAI、ブロックチェーン、デジタルトランスフォーメーションなどをテーマに、さまざまな講演や討論会、展示会、レセプションが開かれます。米欧型の大型イベントであるため、来場者は単に講演を聞くだけでなく、最新技術を紹介する展示ブースで経営幹部と情報交換したり、小規模のミーティングやレセプションで将来の事業協力や提携について議論を交わしたりすることもできます。



世界最大級の
フィンテックカンファレンス
中国・杭州で初開催
— Money20/20、アリババやテンセントと交流の機会

Money20/20の「トレーシー・デイビス」
Money20/20は世界最大級のフィンテックカンファレンスとして、毎年ラスベガスで開催されてきた。今年、中国の杭州で初めて開催される。このイベントは、世界のフィンテック業界のリーダーたちが一堂に会し、最新の技術やビジネスモデルを共有し、交流の機会を提供する。今年、中国の杭州で開催されるのは、中国市場の急速なデジタル化と、グローバルな事業展開を目指す中国企業と中国事業の拡大を狙う米欧勢のニーズが高まっているのを受け、運営会社の英Ascential Groupが中国本土で初めての開催を決めたためである。

Money20/20の「トレーシー・デイビス」
Money20/20は世界最大級のフィンテックカンファレンスとして、毎年ラスベガスで開催されてきた。今年、中国の杭州で初めて開催される。このイベントは、世界のフィンテック業界のリーダーたちが一堂に会し、最新の技術やビジネスモデルを共有し、交流の機会を提供する。今年、中国の杭州で開催されるのは、中国市場の急速なデジタル化と、グローバルな事業展開を目指す中国企業と中国事業の拡大を狙う米欧勢のニーズが高まっているのを受け、運営会社の英Ascential Groupが中国本土で初めての開催を決めたためである。

Money20/20
2018年8月31日 日本経済新聞 朝刊掲載

登壇者の最新情報は[こちら](https://www.money2020-china.com/portal/Index/speakers_tx)でお確かめ下さい https://www.money2020-china.com/portal/Index/speakers_tx



トレーシー・デイビス Money20/20 プレジデント

日本の皆様の参加を心より歓迎いたします。Money20/20は米国やヨーロッパではよく知られているグローバル・フィンテック・イベントですが、「Money20/20 チャイナ」は今回が初めての開催となります。

急ピッチに進化する中国のフィンテック・マーケットは創造性にあふれています。世界のフィンテック・リーダーは、この中国が提供してくれた機会を存分に生かすとともに、新たな「Money」の世界を切り開くことに役立てることでしょう。

杭州で皆様にお会いできることを楽しみにしております。

こんな方にお勧めです



視察団長 からの メッセージ



柳川 範之 教授
東京大学大学院
経済学研究科・経済学部

(略歴) 東京大学大学院経済学研究科准教授などを経て、2011年より現職。東京大学金融教育研究センター・フィンテック研究フォーラム代表を務める。著書に「人工知能は日本経済を復活させるか」(編著)や「ブロックチェーンの未来」(共編著)、「法と企業行動の経済分析」などがある。1988年に慶應義塾大学経済学部通信教育課程を卒業。

キャッシュレス化の急速な進展に象徴される中国のフィンテックは、今や世界的にも注目を集めている。技術革新に迅速に対応する中国経済は、狭い意味で決済や金融の分野だけではなく、サービス業や製造業など、より幅広い分野で、大きな変革を起こしつつある。中国企業の動きを的確に把握することは、今や日本企業にとって、かなり喫緊の課題だ。

もちろん中国と日本とは、個人情報の取り扱いなどルールが異なる面があり、中国企業とまったく同じことを日本企業ができるとは限らない。しかし、中国企業の新しい取り組みを知ることによって、ビジネス上の多くのヒントが得られるに違いない。

そして、それは世界全体の技術動向、ビジネス動向の把握にもきっちりつながっていくはずだ。

とはいえ、マスコミ報道などの二次情報にだけ頼っていたのでは、本当に今何が起きているのかは分からない。実際に自分の目でみて、肌で感じてこそ、新しい動きを的確に把握することができる。特に、変化の激しい今の中国を理解するうえでは、「今の中国」を実際に体験することの重要性は大きい。さらに、視察ツアーのようにグループで体験することには、大きなメリットがある。それは相互に意見交換ができることだ。それによって、単なる体験が大きな知見になっていくに違いない。

視察ツアーのスケジュール

おひとり様・1名様1室・エコノミークラス利用の場合

日程：2018年11月13日(火)～17日(土)

旅行代金：**985,000円**

※ビジネスクラス利用142,000円追加(国際線区間)

※現地集合・解散

(2日目北京から5日目杭州まで)894,000円

全行程
日本語通訳付き

※燃油サーチャージ(目安5,000円)と国内外空港税(約5,010円)は含まれておりません。確定金額はご出発前に別途ご請求申し上げます。
※表記金額は7月19日現在の目安金額です。尚、今後変更される可能性があります。

月日	行程	食事
Day 1 11月13日(火)	16:00 羽田空港にてオリエンテーション	
	17:25 空路、北京へ(NH963)	
	20:35 北京到着、専用バスにてホテルへ	夕：機内
Day 2 11月14日(水)	08:30 スタートアップの聖地・中関村を視察 …中国で最も有名な「創業ストリート」を訪れ、若き起業家とも交流します	朝：○
	10:00 清華大学サイエンスパーク(TUS)を訪問 …清華大学教授の講演を聴講し、インキュベーションセンターを見学します	
	13:00 中国スタートアップによるピッチ	昼：○
	17:00 ビジネス交流会 …清華大学やTUSの関係者、スタートアップ経営者らとの食事会です	夕：○
	19:00 ホテル発、北京国際空港へ	
	21:20 空路、杭州へ	
Day 3 11月15日(木)	09:00 Money20/20に参加 …日本語通訳付き、講演や出展ブースにご案内します	朝：○
	19:00 ビジネス交流会 …Money20/20に参加する企業関係者らとの会食です	昼：○ 夕：○
Day 4 11月16日(金)	09:00 Money20/20に参加 …日本語通訳付き、講演や出展ブースにご案内します	朝：○
	19:00 杭州市内視察 …中国のキャッシュレス決済を体験します	昼：○
	19:30 視察ツアー総括と懇親会	夕：○
Day 5 11月17日(土)	09:00 杭州市内視察 …白樂天や蘇東坡にゆかりの西湖を訪れます	朝：○
	13:50 空路、成田へ(NH930)	昼：機内
	17:45 成田空港にて解散	



●利用ホテル 北京:天津国際 杭州:濱江ヒルトン または同等クラス ●利用航空会社 全日空(国際線) ●添乗員:同行 ●最少催行人数:20人 ●食事 朝4/昼3/夕3(機内食除く) ●入国時点で「出国時6ヶ月+滞在期間」以上の残存期間があるパスポートをご用意ください。

★北京・スタートアップによるピッチ

～清華大学サイエンスパーク(TUS)が3000社以上の起業支援先から選抜したスタートアップ10～15社が、事業内容や将来計画などについてプレゼンテーションします。その場での質疑応答はもちろん、ビジネス交流会で経営者と意見交換することもできます。

★杭州・Money20/20での特別プログラム

～アリババグループやテンセント、衆安保険などの中国企業の最新情報が得られるよう、重要な講演をピックアップ。展示ブース訪問を組み合わせた特別プログラムを編成します。日本語通訳付きですので、英語や中国語が話せなくても心配ありません。

①必ずお読みください

募集型企画旅行

※詳細は別途お渡しする旅行条件書（旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面）を必ずお読み下さい。

●旅行のお申し込みと契約の成立、および旅行代金のお支払い期日

旅行のお申し込みはメールまたは電話にて承ります。旅行契約は当社が予約の承諾をし、申込金（旅行代金の全額または一部）を受理したときに成立します。ただし「振り込み」の場合はお客様の振り込み手続きが完了した時点で成立したものとします。

<海外旅行>

当社所定の旅行参加申込書に申込金を添えてお申し込み願います。

申込金は旅行代金の一部として繰り入れます。

●旅行開始前の当社による旅行契約の解除および払い戻し

- ①お客様が当社所定の期日までに旅行代金をお支払い頂けないときは、当社は旅行契約を解除することがあります。この場合、取消料と同額の違約料をお支払い頂きます。
- ②お客様の人数が最少催行人数に満たないときは、旅行の実施を取りやめる場合があります。この場合は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって23日目（ピーク時に旅行を開始するものは33日目）にあたる日より前までにその旨をご連絡し、既に收受している旅行代金（あるいは申込金）全額を払い戻し、旅行契約を解除します。

●取消料（お客様による契約の解除）

お客様は次に定める取消料をお支払い頂くことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。契約解除のお申し出は、当社の営業時間内にお受けします。

旅行契約の解除期日		取消料（おひとり）
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	①旅行開始日がピーク時の旅行であって、40日目にあたる日以降31日目にあたる日まで	旅行代金の10%
	②30日目にあたる日以降3日目にあたる日まで	旅行代金の20%
③旅行開始日の前々日及び前日		旅行代金の50%
④旅行開始日当日		旅行代金の100%
⑤旅行開始日後及び無連絡不参加		

（注）「ピーク時」とは、12/20～1/7、4/27～5/6、及び7/20～8/31までをいいます。

旅行企画・実施 (株)日経カルチャー

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-6-6 MIFビル2階

TEL 03-5259-2990 <営業時間> 9：30-17:30（土日祝休）

総合旅行業務取扱管理者：田木茂
観光庁長官登録旅行業第1946号
一般社団法人日本旅行業協会正会員

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。
この旅行契約に関しご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の取扱管理者にお尋ねください。

【個人情報の取扱いについて】

当社は、旅行申込の際に提出された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させて頂くほか、お客様がお申し込み頂いた運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用させて頂きます。その他当社では①当社の商品やサービス、キャンペーンのご案内②旅行参加後のご意見やご感想の提供のお願い③各種アンケートのお願い④特典サービスの提供等にお客様の個人情報を利用して頂くことがあります。

お申し込み
お問い合わせは
こちらまで

(株)日経カルチャー

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-6-6 MIFビル2F

E-mail: fintech@nikkeicl.co.jp

TEL 03-5259-2990 【営業時間】
9:30～17:30 土・日・祝休み